

アジア太平洋ろう者競技大会
(通称:アジア選手権大会)報告
＜一般向け＞



日本デフバスケットボール協会

佐知 樹一郎

過去のアジア選手権大会

➤ 【男子デフバスケットボール】

2012韓国 ...銀(4か国中)デフリンピック出場権獲得

2015台湾 ...4位(8か国中)のため、デフリンピック出場権なし

➤ 【女子デフバスケットボール】

2012韓国 ...大会なし(チーム数が規定に達してないため)

2015台湾 ...不参加

アジア選手権2024(男子デフバスケットボール)

- 2024オーストラリア
 - ...予選ステージ3位(6か国中)
 - ...決勝ステージ4位(6か国中)

不出場が危ぶまれる中、
短期間で3~4位を獲得した
選手らを称えたい。



アジア選手権2024(女子デフバスケットボール)

- 2024オーストラリア
- ...予選ステージ1位(3か国中)
- ...決勝ステージ1位(3か国中)

デフバスケットボール史上初の
金メダルを獲得できた。



アジア選手権2024(トロフィ授与)



現場での情報①

- 男子の各国代表が最初の試合では、試合中に補聴器がなくても、特に聴覚活用や口話でコミュニケーションを行った。多くの観客側が「聴カレベルの不正では？」と疑う会話もよく見られた。段々と試合を重ねると男女日本代表のプレーを参考するようになり、サインバスケ(バスケットプレーに必要な情報を聴覚経由に依存せず、「見える化」の視覚情報の提示の意識徹底)やジェスチャーが多く見られた。
- 多くのDIBF関係者から日本代表コーチ陣の手話の使用(コミュニケーションを重視)と男女日本代表の活躍に対して「素晴らしいチームだ」と絶賛された。
男子はコミュニケーション方法を理解できているが、メンタル面やバスケのスキルアップの面での課題が残る。女子は様々なコミュニケーション方法による連携がうまく取れ、短期間でチームワーク強化ができた。

現場での情報②

- 男女日本代表との写真を希望する現地ファンが多くいたのを見て、本来のデフバスケ（デフ主体）を示すことができたと感じた。



現場での情報③

- 3位のモンゴルからは、ある代表選手に「旅費宿泊費を出すので、デフキッズにバスケットを教えるために1人でモンゴルに来て欲しい」と要望した。
- 香港は、U15・U18しか選手を発掘できないくらい育成環境が整っていない。JDBAの育成について説明すること、たいへん興味を持ち、積極的に質問が目立った。



現場での情報④

- 2位の台湾は、終始徹底的にマンツーマンをするほど、日本手話メインの代表選手のチーム内の円滑なプレーに警戒を強めた。
- 女子監督は英語やアメリカ手話・日本手話堪能者。男子監督は英語や日本対応手話使用者、男子マネは国際手話（日常会話レベル）で、各国の選手や監督から人気であった。審判やTOも含め、オーストラリアのバスケットボール協会スタッフは、日本代表の姿勢に感銘を受けていた。



出発前



撮影



セレモニー



アジア選手権大会の会場（ステート バスケットボール センター）



決勝ステージ(1コート)



ロビー・カフェ



予選ステージ(17コート)
練習コート(12・14・18コート)

プチ国際手話講習会(男女とも)



アップ&ミーティング



試合風景(男子)



試合風景(男子)



試合風景(女子)



試合風景(女子)



優勝決定後(史上初 金メダル獲得)



DIBF -AP理事 兼 国際手話通訳の役割の重要性について

- チームに帯同したスタッフは、男子チームリーダーやJDBA理事の経験があり、国際手話堪能の彼なしでは、女子日本代表の金メダル獲得や男女日本代表の引率をうまくできなかったと考えられる。

将来のことをふまえ、協会としては国際手話養成に力を入れていきたい。

- DIBF、DIBF -AP、オーストラリア実行委員会、各国代表との情報交換をきちんと行い、連携強化ができた。



DIBF-AP理事 兼 国際手話通訳の役割の重要性について

➤ 日本は情報保障が充実しており、各国に比べて一歩先を行っている。

【例1】TD会議：国際手話(事務局長) > 国際手話(デフスタッフ) > 日本手話伝達

【例2】開閉会式セレモニー：国際手話(事務局長) > 国際手話(聴者) > 日本手話伝達



今後の国際大会(イベント) スケジュール

- 2024 DIBF 3x3 世界選手権(アメリカ・ワシントン 開催決定)
- 2026 DIBF 3x3 世界選手権(モンゴル 候補)
- 2026 DIBF -AP ユースキャンプ(日本 候補)
- 2026 DIBF U21 世界選手権(開催国・地 募集中)
- 2027 DIBF 世界選手権(開催国・地 募集中)
- 2028 ICSD ユースデフリンピック競技大会(台湾 予定)



御礼



皆様からいただいた支援金のおかげで、オーストラリアのメルボルンで開催されたアジア太平洋選手権大会に無事に出場することができました。本大会を通じて得た経験は、私たちにとって大きな財産であり、今後活かしていく所存です。これもひとえに、多くの皆様方からのご支援のおかげです。厚くお礼を申し上げます。この支援金は、現地での生活や選手たちのケア等にご使用させていただきました。重ねてお礼を申し上げます。今後も努力を続け、次こそは東京 2025デフリンピックでメダル獲得を目指して頑張ってまいります。引き続き温かいご支援と応援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。